わたし、アナタ、min-na

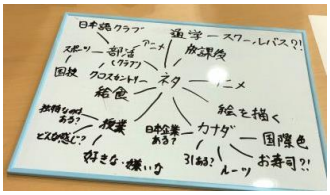
No.31

そのすがたがうれしい

2021年 11月12日　市立札幌開成中等教育学校便り
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629
HP http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/

国際交流編(6)

10 月カナダ・Port Moody (IB 校:日本語クラブ)との交流始まる！



国際交流班の企画で、10 月 13 日・15 日に、カナダ・コキットラム学区にある IB 認定校：Port Moody との交流を実施しました。Port Moody の生徒は TOK の授業後の参加、開成生徒（国際交流班＋有志の皆さん）は朝の時間帯に集まりました。それぞれビデオを使った学校紹介、自分たちで調べてきた内容について、1 日目は日本語で、2 日目は英語で交流しました。カナダでもアニメは大人気！カナダの生徒と直接話をすることで、遠い国カナダをとても身近に感じられる時間でした。同時に online で交流をする際の問題点も見えてきました。今後、より一層深まった対話ができるように、そしていつかはお互いの国に直接訪問をして交流できるように、これからも試行錯誤を重ねていきます。 11 月の交流は 16 日（火）、30 日（火）を予定しています。

・AFS「北海道地域：留学生とのオンライン交流」
11/21(日)19:00～21:00　info-sapporo@afs.or.jp
イベント前半は 10 月に来日した留学生のお国紹介。後半はブレークアウトルームに分かれて「留学生と遊ぼう！」。11/17(水)20 時までに AFS へ申込。

・SSH タイの姉妹校とオンラインイベント！
3～5 年生を対象に、12/20 に日本 SSH 校とタイの姉妹校が研究交流を実施。ノーベル物理学賞受賞の天野浩教授も英語で講演します。詳細は SSH 担当へ。

・＃せかい部　今月の online イベントは
11/11.14「海外の同年代とジブリトーク！」
11/21　「海外に友達作ろう！フリートーク」
11/26 「グローバルxキャリア国際協力編」
＃せかい部の twitter,instagram を follow!

・ベネッセ「高2生のための海外進学 WEB セミナー」
アメリカ・カナダ・オーストラリアへの海外進学の基礎知識を Web セミナーで。

・カナダ留学フェア online
ビデオセミナー11/1～12/12
リアルタイム Q&A　12/4,5,11,12
参加校リスト・スケジュールは
www.canada-ryugaku-fair.com

・ドイツを知るセミナー　大学都市ミュンヘン～オリヴァーさん（札幌市姉妹都市交流員）の体験から
11/19(金)19:00－20:30 online　詳細は国際プラザ https:// -sapporo.or.jp/citizen_j/seminar/#seminar603

・文科省「海外大学の授業の再現講義を体験し、日本語解説を受けられる模擬留学イベント」
希望者は文科省 URL より直接申し込みを　https://tobitate.mext.go.jp/news/detail.html?id=330
11/24(水)20:00～21:30　米国ハーバード経営大学院の現役学生による「ハーバード流ケースメソッドで学ぶリーダーの決断力」をテーマとした模擬留学イベント。(高校生向け)

トビタテ！留学 JAPAN はコロナの影響により、現在派遣が決定している学生の渡航期間を2022年まで延長することになりました。(本校では15名が合格！)それに伴い 2022 年度派遣の新規募集は行わないことが決定されました。新たに応募しようと思っていた皆さん、ここはじっくり腰を据えて次回の応募に備えましょう。

＊上記情報・その他各種情報は1階国際交流コーナーに随時掲載しています。交換留学の募集も始まっています。来年度はそろそろ現地での体験が可能かな？　*Check it out!*

「高校生外交官プログラム」:5 年 N･R さんからの報告

2021 年 7 月後半の 8 日間、私は AIG 損保主催の高校生外交官プログラムに参加しました。今年ははじめての特別プログラムとして行われ、全国からの 60 名の高 2･3 生とともに、ディスカッションやコミュニケーションアクティビティ、ネイティブの AIG 社員の方への社会問題に関するプレゼン、ブロードウェイ俳優の方のワークショップ、国連や世界銀行で働かれる方のレクチャーなど、8日間の中で数え切れないほどの魅力的な経験をしました。

印象に残ったことの一つに、ブロードウェイ俳優の由水さんのお話がありました。彼女のパワフルなワークショップでは、全ての参加者が強く影響を受けていました。

小さい頃からブロードウェイへの憧れを抱きながらも、現地で幼少期から演劇をする人でさえ確実にその舞台に立てるとは限らない、厳しい世界に挑戦する中で、「自分が夢に見続ける限り可能性はある」と信じたから努力ができた、と仰っていました。何をするにも大切なのは自分の気の持ちようで、可能性を信じることだとはよく聞きますが、自分の本当にやりたいことを成し遂げた方の言葉ではその重みが全く異なって実感されました。

またプログラムでのアクティビティは、将来の目標やプログラム中に達成したいことにフォーカスしたものが多くあり、目標を達成するために必要なことを身をもって学ぶことができたと思います。

日記をつけることと、明言すること、特にこの二つが重要だと感じました。日記は参加者全員がつけることに決められており、その日した事から出来たこと、上手くいかなかったことを手書きで書き出すことで次の日にどう行動すべきかが明確になります。同様に、明言することで自分の中のイメージがより具体的なものになります。なによりモチベーションが格段に向上します。こういった様々な活動を通して、少しずつ目標に近づくという過程を体感することができたように思います。

他にも、アカデミックな知識、例えば途上国の教育に関する現状や、外交官、大使館で働く方々のお仕事、キャリア構築に関してなども広く深く得ることができました。全国、世界に素敵な友人を持てることも魅力の一つです。

来年度では、恐らく例年通りのプログラムとなると期待しますが、どのような形であれ予想を遥かに超える成果と満足を得られることは間違いないと思います。少しでも興味があればぜひ来年度のプログラムに挑戦してみてください。

「和歌山アジア･オセアニア高校生フォーラム」:5 年 T･Y さんの報告

和歌山アジアオセアニア高校生フォーラムの 3 日間のプログラムへの参加は、他国･他地域の生徒の価値観に触れる良い機会になった。世界が抱える問題の中から興味のあるものを選択し、英語でプレゼンとディスカッションを行うというプログラムで、今回は、オンライン上での開催になった。

今回の経験を経て主に感じたことは、2つある。

1 つ目は、自分のスキルを高めるために、振り返りと改善を繰り返すことがいかに効果的なものであるかだ。このプログラムは、日を跨いでの交流だった。そのため、1 日目で質問を躊躇ってしまったり、考えがまとまらずあやふやに答えてしまった点をもう一度考えることができた。そのため、2 日目 3 日目と考えが深まり、質の高いディスカッションになった。

2つ目は、学ぶ意欲の高い人達との交流は自分の学習のモチベーションを高めてくれるということだ。このプログラムは、全て英語で行われたため、同じ日本人でも英語を流暢に話す人ばかりだった。また、世界が抱える問題に対し、自発的に行動しそれを SNS で発信している生徒もいた。このような同じ高校生の姿を見て、自分も何か行動を起こしたいという気持ちになった。

コロナ禍でも他国の生徒や他地域の生徒との交友関係を築くことができ、自分のスキルや意欲を高められた 3 日間はとても有意義なものであったと感じている。

令和 4 年度の「アジア･オセアニア高校生フォーラム」は 2022 年 7 月 23 日～27 日に和歌山で実施予定。
「津波･防災対策」「環境」「ダイバーシティ」「教育」「食糧」に関してテーマを選び、調査･研究成果を英語で発表します。(対象:令和 4 年度に高校 2 年･3 年在籍)。　〆切は 1 月 14 日(校内〆切は 12 月 17 日)。
要項は国際交流コーナーに掲示。　興味のある人はキャリア支援部:国際担当へ。